

平成30年度 事務事業評価シート(実施計画事業・**経常事業**)記入例

事業の概要	事務事業名	広報等作成事業						担当部	市長公室		
	会計区分	一般会計						担当課	広報広聴課		
	事業期間	平成12年度以前		～	平成31年度以降		担当係	広報係			
	基本施策・展開方向	7	行政経営		31	行政運営		1	情報の共有化を推進します		
	予算区分	款	2	項	1	目	2	大	4	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市広報発行規則									
	目的	何・誰を対象に	市民								
		どのような状態にするのか	小牧市の各種施策や計画についての説明や行事等の情報を提供し、行政に対する理解と協力を得る。								
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>■平成29年度の主な実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報こまきを毎月2回発行した。(平均発行部数:57,866部) ・市政カレンダーを発行した。(58,000部) ・転入者向けの市政案内としてくらしのガイドを発行した。(10,000部) ・市民活動団体に広報こまきの一部(くらしの掲示板、市民の情報交換のコーナー)の作成を委託し、市民との協働による広報紙づくりを進めた。 ★市民活動団体との協働で「市民レポーター」の取材による広報紙面への掲載を行い、より市民に身近な広報紙となるよう努めた。また、「市民レポーター制度」の夏休み特別企画として、子どもたちが「こどもレポーター」として市内各所(歴史館、エースペーカー、福玉倉庫)を取材し、広報こまきに掲載した。 ・定住促進ポスターを名鉄小牧線車両ドア横に掲示し、市の魅力をPRした。また、移住交流フェアに参加し、市の魅力をPRした。(8/25、8/26) <p>■平成30年度の主な実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報こまき、市政カレンダー、市勢要覧を作成し、市政情報の提供を行う。 ・市政、各種事業、サービスなどの情報をいち早く的確に提供するため、毎月2回(1日号と15日号)広報こまきを発行する。 ★市内小学4年生から中学生までを対象に、こども向け広報紙を作成・配布する。(年2回、夏頃と冬頃) ・市民活動団体に広報こまきの一部(くらしの掲示板、市民の情報交換のコーナー)の作成を委託し、市民との協働による広報紙づくりを進める。 ★市民活動団体との協働で「市民レポーター」の取材による広報紙面への掲載を行い、より市民に身近な広報紙となるよう努める。また、「市民レポーター制度」の夏休み特別企画として、子どもたちが「こどもレポーター」として市内各所を取材し、広報こまきに掲載する。 ・刊行物の発行にあたり、取材・編集・校正・チェック及び関係課との調整を行う。 ・定住促進ポスターを名鉄小牧線車両ドア横に掲示し、市の魅力をPRする。 									
	受益者負担	無									

事業費	費用			単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29決算額	H30予算額
		直接経費		千円	88,506	95,444	87,259	87,953	97,660
正職員	従事者数	人	2.15	2.60	2.70	2.50	2.50		
		人件費	千円	16,095	19,464	20,212	18,715	18,715	
	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.30	0.50	
		人件費	千円	0	0	0	2,246	3,743	
費用合計		千円	104,601	114,908	107,471	108,914	120,118		
対前年比		%	—	109.8	93.5	101.3	110.2		
財源	一般財源	千円	104,601	114,908	107,471	108,914	120,118		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0	0		

業	成果指標名	単位		H26	H27	H28	H29	H30
	広報こまき	千部	目標	-	-	-	-	-
			実績	1,364	1,369	1,377	1,389	
	暮らしのカレンダー	部	目標	-	-	-	-	-
			実績	57,000	57,000	57,000	58,000	
	活動指標名	単位		H26	H27	H28	H29	H30
績	広報こまき	千部	目標	-	-	-	-	-
			実績	1,364	1,369	1,377	1,389	

事業の評価	平成29年度	事業の達成状況	市政、各種事業、サービスなどの情報を的確に提供するため、毎月2回(1日号と15日号)広報こまきを発行し、併せてSNS(Facebook,LINE等)による発信を行うなど、情報発信に努めた。						
		事業実施における課題	広報を読むことが比較的少ない若年層に向けて、SNS(facebook、LINE等)等を利用し周知を図り、今まで紙媒体の広報紙を読まなかった方に、WEBで読んでもらえるよう働きかけていくことが重要。						
	平成30年度	30年度における実施内容や結果見込み	広報こまきの掲載記事の精査・充実を図るのはもちろんのこと、若年層に向けての、SNS(facebook、LINE等)等を利用した周知を積極的に行い、読者層の拡大に努め、より多くの市民に情報を発信していく。						
	平成31年度以降	事業の方向性	縮小	対象や手段等の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの					
		削減額・削減対象	事務事業評価による額	78	千円	予算区分	11	節	節
		判定理由・削減内容	必要となる購入物、経費等を改めて精査し、消耗品費78千円事業費の削減を行う。						
		31年度以降の実施内容	今後も引き続き、広報こまきや各種SNS(facebook、LINE等)等を利用し、行政として伝えるべき情報をスピーディーに発信していく。						